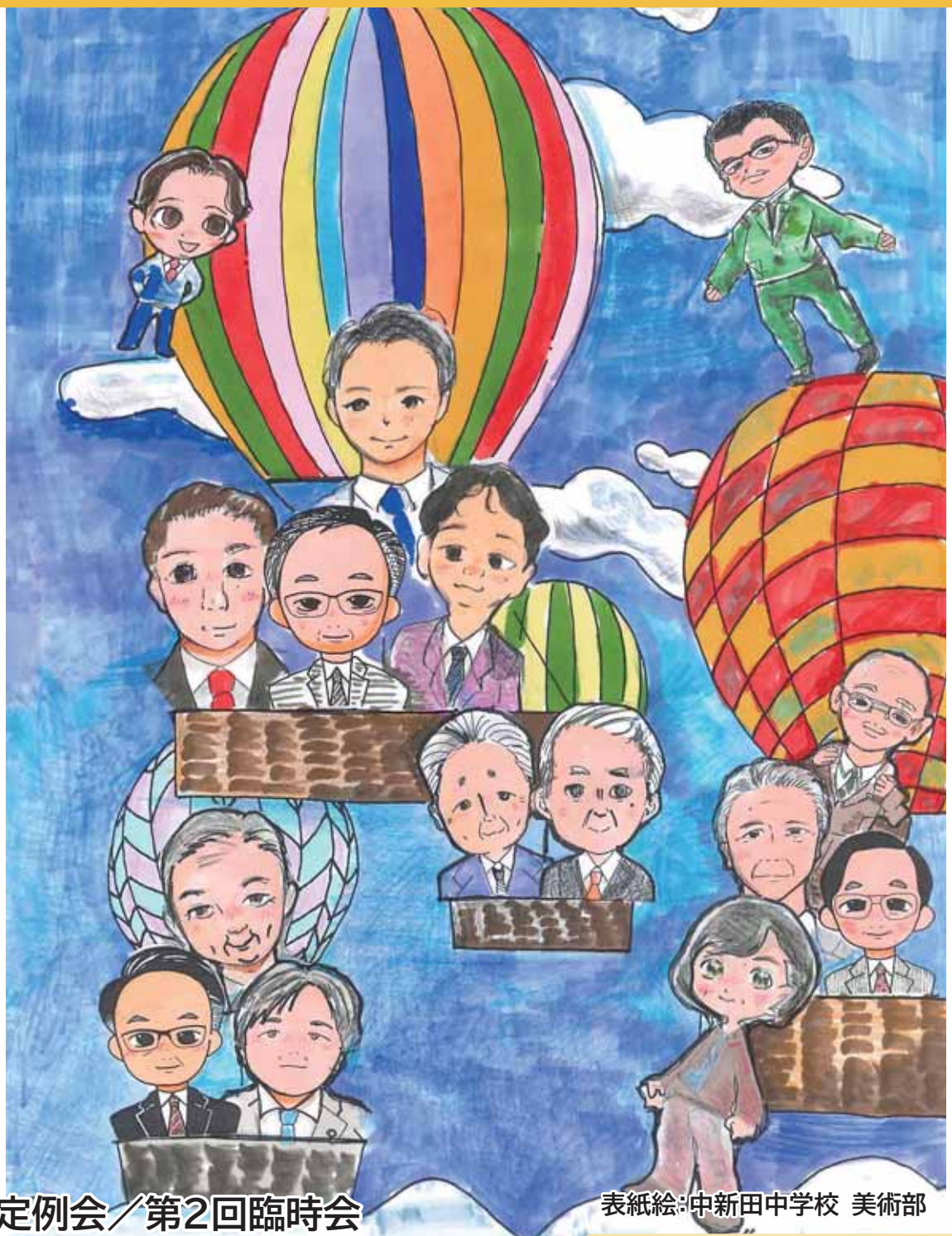
かみまち議会だより
GIKAI-Press

令和7年5月1日発行
宮城県加美町議会
No.89



表紙絵：中新田中学校　美術部

● 2月定例会／第2回臨時会

町議会新体制 ……P2
再生可能エネルギー規制強化……P9
一般質問　町政を問う（13人が質問）……P11
新人議員インタビュー ……P20

議会中継はこちらから

加美町議会映像配信　検索

https://kami-town.stream.jfit.co.jp/

制が決定

4月臨時会（初議会）

3月23日に行われた加美町議会議員一般選挙で、新人4人を含む15人が当選しました。
4月4日の初議会では、議長に味上庄一郎議員、副議長に髙橋聡輔議員を選出しました。
また、各常任委員会や議会運営委員会の委員の選出なども行い、議会の組織体制を整えました。

加美町議会
第８代議長
味上　庄一郎
（南町／４回）

議長所信表明

議会は二元代表制の一翼を担い、首長と切磋琢磨する議会へと変わっていくため次の3つの目標が必要と考えます。

①議会の権限を発揮し職責を果たし、独立した機関として機能すること
②「チーム加美町議会」として政策力を向上させ、町長と善政競争を進めること
③議会への町民の参加と自治意識を高め議会活動を「見える化」すること

これらの実現には、自由討議を活発化させ自己研鑽のための研修を増やすことが必要であると考えます。

特に今回の選挙結果は、多くの町民から指示され若い世代の4人の新人が誕生したことから、当選回数を重ねた諸先輩方が培ってこられた責務や役割を若い世代に継承し、次世代に託していくことが、担い手不足解消にもつながると考えます。

加美町に山積する課題解決のため、これらの目標に果敢に挑戦していく加美町議会を目指し公平公正な立場で議会運営に取り組んでまいります。

加美町議会
第８代副議長
髙　橋　聡　輔
（中新田城内／５回）

議会構成一覧

●総務産業常任委員会
委員長　三浦　又英
副委員長　伊藤　淳
委　員　米木　正二
伊藤　由子
早坂　忠幸
今野　清人
田中　草太

●教育民生常任委員会
委員長　早坂伊佐雄
副委員長　木村　哲夫
委　員　髙橋　聡輔
沼田　雄哉
三浦　英典
佐藤　圭介
早坂　潔

●議会広報常任委員会
委員長　髙橋　聡輔
副委員長　伊藤　由子
委　員　佐藤　圭介
今野　清人
早坂　潔
田中　草太

●議会運営委員会
委員長　木村　哲夫
副委員長　三浦　又英
委　員　伊藤　淳
沼田　雄哉
早坂　忠幸
早坂伊佐雄

●放射性汚染廃棄物処理等調査特別委員会
委員長　三浦　英典

議会の新体

議員紹介

議席番号　氏　名
行政区／当選回数（旧町含む）

２番　早坂　　潔
（中新田城内／１回）

１番　田中草太
（新丁／１回）

６番　早坂忠幸
（南鹿原／４回）

５番　早坂伊佐雄
（小瀬／４回）

４番　佐藤圭介
（雷／１回）

３番　今野清人
（西川北／１回）

１０番　三浦英典
（小泉／６回）

９番　木村哲夫
（田川／６回）

８番　伊藤由子
（上狼塚北／５回）

７番　三浦又英
（下新田上／５回）

※議席番号順に右上から左下へ掲載

１３番　米木正二
（十日市／１１回）

１２番　伊藤　　淳
（西町／７回）

１１番　沼田雄哉
（上小路二／６回）

●鳴瀬川ダム建設に関する整備調査特別委員会
委員長　早坂伊佐雄
副委員長　佐藤　圭介
委　員　議長を除く全員

●再生可能エネルギー発電事業等に関する調査特別委員会
委員長　早坂　忠幸
副委員長　沼田　雄哉
委　員　議長を除く全員

●議会選出監査委員
米木　正二

●大崎地域広域行政事務組合議会
議　員　味上庄一郎
伊藤　淳
三浦　又英

●宮城県後期高齢者医療広域連合議会
議　員　早坂伊佐雄

●加美郡保健医療福祉行政事務組合議会
議　員　味上庄一郎
髙橋　聡輔
早坂伊佐雄
木村　哲夫

副委員長　今野　清人
委　員　議長を除く全員

・観光元年」

第三次総合計画スタート!!

令和７年度 一般会計予算（過去２番目の予算規模）

147億8,000万円

前年度比　11億5,000万円（8.4%）増

一般・特別・公営企業会計　当初予算

会計別		予算額	前年度比	増減率
一般会計		147億8,000万円	11億5,000万円	8.4%
特別会計	国民健康保険事業	27億6,000万円	△1億4,000万円	△4.8%
	後期高齢者医療	3億3,900万円	500万円	1.5%
	介護保険	32億7,000万円	4,000万円	1.2%
	介護サービス事業	620万円	△20万円	△3.1%
	加美郡介護認定審査会	650万円	△350万円	△35.0%
	霊園事業	220万円	△10万円	△4.3%
	町営駐車場事業	250万円	10万円	4.2%
公営企業	下水道事業	16億4,890万円	△2億1,095万円	△11.3%
	水道事業	6億9,827万円	△1,047万円	△1.5%

２月定例会

２月定例会は７日から18日までの７日間開催しました。

町長から７年度の町政運営を示す施政方針が述べられ、一般質問では13人の議員が町政運営について質問しました。

議案審議では、予算審査特別委員会で慎重に審査した当初予算など31議案を原案通り可決、農業委員の人事案件15件に同意、常任委員会などの調査報告を行いました。

定例会で審議した内容

条例の制定・一部改正……9件
和解及び損害賠償の額の決定……1件
財産の無償貸付……1件
町道の認定・廃止……1件
令和６年度補正予算……8件
令和７年度当初予算……10件
農業委員の任命同意……15件
財産の取得（追認）……1件
常任委員会などの調査報告……5件

令和7年度施政方針の詳しい内容は広報かみまち3月号をご覧ください

令和７年度予算

全会一致 可決

施政方針で表明!! 「加美町

「和と美」のまちづくりへ

委員長報告

予算審査特別委員会
早坂　伊佐雄

予算増の要因は

令和７年度の一般会計予算は、前年度比11億５０００万円増の総額１４７億８０００万円。増額の要因は、利用自粛牧草の圏域外処理委託料５億８０５９万円、新庁舎の実施設計業務１億３７４０万円、国のＧＩＧＡスクール構想によるタブレット端末更新費用１億３９３９万円など国からの財源を伴った臨時的・緊急的な事業の実施によるものです。

長年の懸案事項解消

厳しい予算編成が強いられる中でも、長年の懸案事項となっていた、利用自粛牧草の処理、新庁舎建設、小野田・宮崎地区からの住民バス西古川直行便運行に対応できたことは、大いに評価できるものです。

委員からの要望課題

昨年度まで実施していた中学３年生（受験生）世帯への灯油代助成について、物価・原油価格高騰の上昇をたどる今こそ支援が必要であると考えます。

さらに指定管理施設であるボルダリングについては、競技人口の減少と共に平成30年度当初の売り上げから２分の１以下に落ち込んでいる。また、振興公社の各施設に関しても、厳しい経営状況が続いている。

石山町政が掲げる観光元年を強く推し進めるためにも、経営の立て直しが不可欠であり、職員一丸となって取り組まれることを強く要望します。

予算審査の流れ

予算審査特別委員会の設置
各会計予算を慎重に審査するため、特別委員会を設置（議長を除く議員で構成）

▶

各会計の歳入歳出予算を審査・採決
担当課ごとに審査を行い、特別委員会で認定するか、賛否を決める

▶

本会議で審査結果を報告
特別委員会の採決結果や審査内容などを特別委員長が報告

▶

討論
令和７年度予算に対して、賛成・反対の立場から討論
▶賛成討論者２人

▶

本会議で議決
委員長報告や討論などをふまえ、各会計予算を議決
▶全会計予算が可決

議会はこの事業・決算に注目!!

- 観光施設の指定管理
- 地域おこし協力隊
- 地域運営組織
- 汚染牧草処理
- 敬老祝金

予算審査録画映像

P６～７ページでは
予算審査で注目した事業・予算をチェック!!

GIGAスクール構想とは？

「個別最適な学び」と「共働的な学び」の実現のため、令和２～３年度に１人１台端末を整備。故障端末の増加やバッテリーの耐用年数が迫り、当町においてiPad（1,635台）を更新。予算措置は、各都道府県に基金を造成し、統一的・共同調達の仕組みとなっており定率補助３分の２。

未来を生きるこどもたちのために最適な学習環境を整備

令和7年度 この事業・予算に注目

一般会計歳出 147億8,000万円

（対前年 11億5,000万円 増額）

予算審査特別委員会では、担当課職員から説明を聞き細部にわたり慎重に審査し、全会一致で可決しました。

その中で、多くの委員が注目した事業・予算について、意見や考察を含めて紹介します。

観光施設の指定管理　2億4,572万円

〈毎年、文化の日に新そばまつりを開催する駒庄〉

議会はこう見る！

指定管理料が、令和5・6年度とほぼ同額の計上となっている。110人以上を抱える公社において、物価高騰や社会情勢を考えると厳しいのではないかと考える。新たなチャレンジには町から、人的協力や予算も検討するとのことで安心だが、職員が意欲を持って働ける環境づくりを優先し、町の「観光元年」をスタートさせてほしい。

地域おこし協力隊　4,564万円

〈卒隊後、宮崎地区でバイオリン工房を構える宮越さん〉

議会はこう見る！

地域おこし協力隊を活用して、伝統産業の事業継承に結びつけることはできないか。また、地域おこし協力隊の報酬のみでは、生活が厳しい状況にあり将来的な起業や独立にはなかなか結び付かない。協力隊終了時である3年後の出口戦略を見据えたサポート体制や、相談業務にも力を入れるべきではないか。

地域運営組織　908万円

議会はこう見る！

現在、宮崎旭地区と小野田鹿原地区にて地域運営組織補助金を活用し活動しており、センター職員給与の見直しのための増額となっている。旭地区ではマルシェなどのイベント開催時、鹿原地区では農業の担い手のいずれも人が足りないという課題は明確である。今後、より個別具体的な課題にどのように向かっていくかを考える時期に来ているのではないか。

〈多くの人が訪れ大盛況であった旭地区のマルシェ〉

汚染牧草圏域外処理　5億8,059万円

議会はこう見る！

田代放牧場・農家個人保管分8,000ベクレル以下の汚染牧草約2,400トンの圏域外処理は、令和6・7年で終了する計画となっている。地域住民・農家の皆さんの不安払拭のためには、評価できる点である。一方で、新たな事業者も令和7年度加わるという事で、運搬時並びに処理を行う自治体に対する安全・安心への配慮も十分に考えて行ってほしい。

〈圏域外処理は令和６・７年で終了予定〉

敬老祝い金　329万円

議会はこう見る！

敬老祝い金が、令和5年度は3,000円だったのに対し、6年度は2,000円に減額し、今年度も減額のまま計上されている。物価高騰の昨今では、減額されては厳しいとの声が聞こえている。また、多くの人を集める敬老会はコロナ禍・インフルエンザの流行により自粛することとなったが、感染者数を把握するなどして従来の開催を検討してもいいのでは。

〈コロナ以前は盛大に開催されていた敬老会〉

2月12日 定例会

「住民バス条例改正」
小野田・宮崎⇒西古川駅直行便がスタート

小野田・宮崎地区から大崎市への路線バスが廃止されて以来、学校へ通う生徒たちの送迎が保護者の負担となっておりました。そのため、町民から長年の要望事項となっていた小野田・宮崎地区から西古川駅への直行便を「住民バス条例改正」によりスタートさせることとなりました。

また、それに伴い、加美町から大崎管内に通学する学生に対し、通学費の均衡を図るため、通学定期券購入費補助金も開始することとなりました。

通学定期券購入費補助金について詳しくは企画財政課（☎63-3115）までお問合せください。

●小野田・西古川線　住民バス時刻表

停留所名	1便
田中	6：00
鹿原地区公民館	6：15
小野田支所前	6：30
下野目	6：40
西古川駅前	7：00

停留所名	1便	2便
西古川駅前	16：50	18：50
下野目	17：10	19：10
小野田支所前	17：20	19：20
鹿原地区公民館	17：35	19：35
田中	17：50	19：50

●宮崎・西古川線　住民バス時刻表

停留所名	1便
旧旭小学校	6：00
宮崎支所前	6：15
賀美石小学校前	6：30
広原地区公民館	6：50
西古川駅前	7：00

停留所名	1便	2便
西古川駅前	16：50	18：50
広原地区公民館	17：00	19：00
賀美石小学校前	17：20	19：20
宮崎支所前	17：35	19：35
旧旭小学校	17：50	19：50

農業委員の任命同意

任期は令和7年4月1日から3年間

令和７年３月31日の任期満了に伴う、15名の加美町農業委員の任命同意が行われました。

CHECK!　農業委員とは…

市町村に設置される行政委員会の委員で、農地に関する事務を執行する特別職の地方公務員です。農地法や農業経営基盤強化促進法に基づき、農地の権利移動や転用、遊休農地対策などの業務を行います。

【主な職務】

- 毎月開催される総会への出席
- 農地法等による農地移動にかかる調査及び許可等に関する審議
- 農地利用の最適化に関する業務
- 農家相談業務
- 各種研修会への参加　　など

【同意結果】

氏名	行政区	再任・新任	賛成/反対	結果
中村貴美子	西町	再	14/0	同意
杉村昭宏	四日市場宿	再	14/0	同意
佐藤健喜	四日市場沖	再	14/0	同意
鈴木英明	上狼塚	新	14/0	同意
菅野守	中新田城内	新	14/0	同意
青砥美恵子	菜切谷新田	新	14/0	同意
坂上昌哉	南町	再	14/0	同意
畠山智史	雷	再	13/1	同意
小山京子	北鹿原	再	14/0	同意
猪股弘	北永志田	再	7/7	同意
板垣文一	鳥屋ケ崎	再	14/0	同意
三浦良人	小泉	再	13/1	同意
澁谷涼子	袋	新	13/1	同意
山本成	上町	再	13/1	同意
髙橋秀生	米泉	再	14/0	同意

3月28日 臨時会

再生可能エネルギー規制強化

～自然環境・発電事業との調和～

3月28日第2回臨時会において、太陽光や風力発電施設の設置規制を強化するため、既存の再エネ条例の一部改正を全会一致で可決しました。10kw以上の事業を対象に、土砂災害が起きる可能性のある、保安林・砂防指定地などの「抑制区域」を「禁止区域」に変更しました。また事業者に対し、事業廃止時に速やかに町長に届ける事や、廃止後の原状復帰のための資金を確保することも義務付けました。

問 再エネ設備設置の禁止区域について法的根拠が示されている。どのような協議がなされて改正にいたったのか。

答 パブリックコメント104件のうち、27件ほど、設置区域についての指摘があったので無視できないと判断した。

問 今回の改正によって加美町の自然には再エネ施設が適地ではないという明確な意思を示したことになるのか。

答 加美町が守るべき景観または安全を第一に考えて、改めて規制を設けた。

全ての地域が不適切というわけではなく、住民の意見や自然との調和を考えたうえで、適地を定めるべきと考える。

問 最近、加美町の森林伐採がとても目立っていると感じているが伐採の状況についてはどうなっているのか。また町は、伐採後の植林計画などの指導はしているのか。

答 私有林については伐採の時期に応じて申請を受け、伐採の範囲や今後の計画を審査したうえで伐採の許可を行っている。

問 東北で、太陽光発電林地開発の違反事件が多発しているが、加美町では違反にあたるような開発行為はないか。

答 町との協議を経て設置しているので、違反に当たるような開発行為は見受けられない。

加美町自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の詳しい内容については加美町ホームページを参照ください。

Pick UP!

ボルダリング施設⇒休止

今後の継続方法を検討へ

やくらいウォール（ボルダリング施設）は、平成29年度地方創生拠点整備交付金事業として整備され、ファーストアセッジャパンが指定管理者となり、平成30年から運営を開始。東京五輪での人気にあやかり利用者増加を見込んでいましたが、新型コロナの影響もあり人気が伸び悩み、30年度当初より利用者・売上ともに大幅減少。

管理者側から財務状況の改善が難しく指定管理業務を請け負えないとの打診を受け、令和7年3月に指定の取り消しに至りました。

交付金事業を活用した事業のため、廃止ではなく休止の措置とし、今後施設の継続に向けて、検討していかなければなりません。

Pick UP!

加美病院などの負担金懸念

病院長・事務局迎え研修会

2月5日、議員会の研修会として、加美郡保健医療福祉行政事務組合令和6年各種会計決算（見込み）及び運営状況・令和7年度各種会計予算（案）に対しての説明を受けました。

研修会ではまず、公立加美病院の佐藤耕一郎院長から病院経営の基礎知識、現在病院で起きている課題について説明を頂き、その後、老健・病院の経営状況について詳細な説明を受けました。

各議員からは、現在行っている経営強化プランの内容や各施設の累積赤字の状況や今後の見通しについての質問が相次ぎ、加美町・色麻町両町の負担金への心配が表れるものでした。

問　2月初めの組合議会だよりにおける、強化プランの説明は理解できるものとは言えなかったが。

答　経営強化プランは非常に多岐にわたるもので、すべては掲載できないために、興味をもっていただいた方の周知に一番経費の掛からない方法としてホームページのアドレスを掲載した。

経営強化プランの詳細については、公立加美病院のホームページを参照ください。

問　現在の累積赤字はどのくらいか。

答　老健は、令和5年末時点で6億3280万8996円である。公立加美病院に関しては、同時期において18億6890万4719円である。

町政を問う　13人が質問

似顔絵を描いてくれたみなさん

加美町立

中新田中学校

美　術　部

一般質問目次

通告1番 **柳川　文俊**（やながわ ふみとし） 12ページ

ＩＣＴ教育

児童生徒の視力低下が心配

通告2番 **三浦　又英**（みうら またひで） 12ページ

風力発電

稼働後の状況と他計画の動向は

通告3番 **伊藤　由子**（いとう ゆうこ） 13ページ

新庁舎建設

ダウンサイジングする予定は

通告4番 **伊藤　信行**（いとう のぶゆき） 13ページ

自然保護

池沼群　千古の森の保護を

通告5番 **一條　寛**（いちじょう ひろし） 14ページ

高齢者福祉

身寄りのない方サポートを

通告6番 **伊藤　淳**（いとう じゅん） 14ページ

経済政策

町の経済向上と安定化策は

通告7番 **髙橋　聡輔**（たかはし そうすけ） 15ページ

観光元年

「和と美」の加美町とは

通告8番 **木村　哲夫**（きむら てつお） 15ページ

災害対応

住民による避難所運営訓練を

通告9番 **味上　庄一郎**（みかみ しょういちろう） 16ページ

再エネ条例

町の自然を守る条例改正を

通告10番 **佐藤　善一**（さとう ぜんいち） 16ページ

行財政改革

実効性を高める財政戦略は

通告11番 **尾出　弘子**（おいで ひろこ） 17ページ

有機農業

オーガニックビレッジ宣言は

通告12番 **佐々木　弘毅**（ささき こうき） 17ページ

風力発電

風況調査地許可は公平公正に

通告13番 **米木　正二**（よねき しょうじ） 18ページ

観光振興

スポーツ合宿の誘致を

●**一般質問**…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。

（掲載しているＱＲコード（議員写真下）で、録画映像を視聴できます。）

ICT教育

児童生徒の視力低下が心配

教育総務課長

メディアに触れる時間を減らす

問 デジタル化により無言化が進んでいると言われる。学校現場では子どもたちが多く話すための取り組みをしているか。

教育長 授業の中で先生が話し過ぎる傾向にある。長くて10分以内にし、残りの時間は子どもたちが考え、学びあう時間を十分確保している。

問 スマートフォンやゲーム機などの使用が近視や視力低下の一因とされている。本町児童生徒の実態は。

教育長 全国平均の裸眼視力1・0未満の割合は、小学校では約3割、中学校では約6割であり、本町もほぼ変わらない結果が出ている。

問 視力低下がタブレット端末の影響によるものとは思わないが、年1回の眼科検診で学校医からどのような報告があるか。

教育総務課長 視力判定0・6以下の児童に眼科受診の勧奨を行っている。

また受診後、新たに眼鏡の使用やレンズ交換を行ったと聞いている。

効率的な学習ができる一方で…

問 大事な視力を守るため、周りの大人たちが認識を深め、学校と家庭が連携することが大事だと思うが。

教育総務課長 今年度から小中学生の各家庭で、デジタル機器に触れる時間を減らすメディアコントロールチャレンジを実施している。

学校での指導はもちろん、保護者の協力も不可欠である。

その他の質問
- 畜産業の支援策
- 子育て支援の具体策
- 障がい者グループホームの開設
- 学校給食の完全無償化

質問のねらい

ICT教育の導入により、学習環境は大きく変わろうとしている。子どもたちの視力低下が気になり質問した。

柳川 文俊 議員

録画映像

風力発電

稼働後の状況と他計画の動向は

町長

騒音や風況調査が実施された

問 風力発電事業者の町内における動向は。

町長 風車稼働後の低周波音を含む音の影響について、夏と秋に調査が行われた。

計画されている風力発電事業では、環境影響評価方法書の各意見を踏まえた現地調査と風況観測が行われている。

問 風車の騒音による苦情の申出があり、サッシが改修されたようだが、その後の現況は。

地球温暖化対策室長 漆沢地区の一部の住民から、風車の音が気になると事業者が相談を受け、昨年は5軒に二重サッシ化工事を実施したと聞いている。

問 低周波や騒音で悩んでいる方の不安解消策として、事業者に健診を実施してもらえないのか。

町長 民間事業者に要求することは難しいので、話題提供として伝えたい。

健康被害への不安解消に努めてほしい

問 町内で計画されている大規模太陽光・風力発電事業に対して、断固阻止を貫く方針は変わりないか。

町長 就任以降、一切変わっておらず、計画されている事業に関しては反対の立場である。

その他の質問
- 放射性汚染廃棄物対策
- 道路整備事業
- 農業の振興

質問のねらい

風力発電事業の運転開始に伴う町民の不安解消策が必要であり、新たな風力発電事業は断固阻止すべきではないか。

三浦 又英 議員

録画映像

新庁舎建設

ダウンサイジングする予定は

町長

機能性を重点的に考えている

持続可能な経営基盤が確立できるように

問 新庁舎はダウンサイジングして建設する予定はないか。縮小する必要がない規模なのか。

町長 計画では延床面積４８００㎡で、シンプルで長く使える庁舎を考えている。

また機能性がいいことを重点的に考えている。

問 シンプルで、機能が充実しているようにするとのことだが、設計に生かされているか。またコンパクトにするための具体案は。

新庁舎整備室長 新庁舎建設委員会・町民ワークショップなどで検討してきた意見も踏まえて設計していきたい。

部屋数を増やさずに、多目的に使えるスペースを設けるなど工夫していきたい。

Check

※ダウンサイジング

コストダウンや効率化のためにサイズ（規模）を小さくすること。

質問のねらい

将来の人口減少、歳入減少に見合った庁舎建設をすべき。

今こそ、広げた風呂敷を畳む知恵が求められているのでは。

伊藤 由子 議員

録画映像

問 行政サービスの最適化において、支所機能はどう考えているか。

新庁舎整備室長 小野田・宮崎地区の核となるべく、利便性・サービス向上を図っていきたい。

また福祉センターや地区公民館を一体的に運営していくために、機能の集約も今後検討していきたい。

町ＨＰ
新庁舎整備室

その他の質問

●子育て支援の充実

自然保護

池沼群（ちしょう） 千古の森の保護を

町長

自然環境の保全を図る

森林浴・自然観察が楽しめる秘境「千古の森」

問 荒沢自然館周辺の池沼群には、多種多様な生態系が広がっている。将来に継承するために調査・保護が必要ではないか。

町長 県自然環境保全地域に指定されている。保全を図るために、学術調査や計画的な維持管理が必要である。

問 千古の森周辺の森林などを※ＦＳＣ認証林として申請する考えはないか。

森林整備対策室長 持続可能な森林管理を推進するために、今後取得していく必要がある。

町内にＦＳＣ認証を受けている事業所がないため、森林組合などと協議しながら取り組んでいきたい。

Check

※ＦＳＣ認証

森林の管理や木材製品の加工・流通過程が適切に行われていることを認証する国際的な制度。

質問のねらい

千古の森周辺の池沼群には水生植物や昆虫類など、多種多様な生態系が広がっているため、貴重な生態資源の保護活動をすべきでは。

伊藤 信行 議員

録画映像

問 旧小野田町時代に不伐の森として千古の森条例を制定し、森林保護してきたが、今後どう維持管理していくのか。

町長 優れた自然風景を鑑賞・観察できるエリアとして、水源の涵養など森林の多面的機能を踏まえた管理をしていく。

また、樹齢１２０年の杉やキャンプ場は一つの観光スポットになるので、ＰＲに力を入れていく。

その他の質問

●岩堂沢林道の整備

高齢者福祉

身寄りのない方のサポートを

保健福祉課長

社会福祉で支えることも必要

問 高齢者世帯が増加し、賃貸住宅入居や、病院・介護施設への入院入所時の身元保証人が確保できない方への支援が必要ではないか。

町長 まずは、疎遠になっている親族などとの関係づくりを推奨しており、困難な場合は成年後見制度を活用している。

さまざまな理由により、居宅生活が困難な方については、養護老人ホームへ入所してもらう対応をとっている。

問 現在、身元保証人が確保できないという相談などはないか。

地域包括支援センター所長 退院後の生活について、医療機関から年に数件相談がある。

また介護施設への入所支援においては、対応に苦慮している。

問 地域共生社会の中での社会福祉として、身元保証人を必要としないなどの対応が必要と考えるが。

保健福祉課長 身寄りのない高齢者を社会福祉で支えていくことも必要である。

質問のねらい

これまで見過ごされてきた身寄りのない高齢者の支援が強化され、尊厳と心身ともに満たされた生活が送れるように。

一條　寛 議員

録画映像

問 身寄りのない高齢者が抱える生活上の課題に対応するための国のモデル事業の内容は。

保健福祉課長 生活サポートのための包括的な相談・調整窓口の整備と、十分な資金力がない方への日常生活支援など総合的な支援パッケージを提供している。

町HP
高齢者福祉・介護

その他の質問
- 金融教育の義務化
- ワクチン接種

経済対策

町の経済向上と安定化策は

町長

観光資源を最大限に活用する

問 商業における活成化策は何か。

町長 商店街のにぎわい創出への支援として、令和6年度設立した中新田地区商店街活性化委員会からの意見をもらいながら、空き店舗の利活用に力を入れていきたい。

問 町内企業同士が協力して、物を作るような仕掛けづくりが必要ではないか。

ひと・しごと推進課長 まずは、どういう産業をしているのかを理解してもらうことが重要である。

今後、町ホームページを拡充して活動内容を周知していきたい。

問 町内企業に対する支援策は何か。

町長 経営者の事業継続に対する支援として「中小企業及び小規模企業の振興に関する基本計画」を策定する。

また商工会・金融機関などと連携を深めながら展開していきたい。

にぎわいづくりの最優先事項は

質問のねらい

施政方針にて各分野の施策が示されたが、特効薬になり得る策が見当たらないので、特に力を入れて行う政策は何か。

伊藤　淳 議員

録画映像

問 加美町を知ってもらい、町を堪能してファンになってもらうために、何から取り組むのか。

町長 関係団体と横の連携強化を図り、町の資源を最大限に活用した地域力の高い観光を目指して、集客力向上へ向けた支援と広報活動を展開していきたい。

その他の質問
- なし

観光元年

「和と美」の加美町とは

町長

「人々の調和と美しい町」

問 「和と美」の加美町とは、具体的にどのようなことか。

町長 「和」というのは、加美町は一つであるという和、調和、そして日本の歴史を指す言葉。

「美」というのは、加美の美、自然景観が豊かで美しい町であるということを一言で表している。

帰省のきっかけの創出を

問 加美町に来てもらうための具体策はあるのか。

町長 まず加美町を知ってもらい、来てもらい、好きになってもらうことで移住定住を促進していく。

ひと・しごと推進課長

Uターンのための策として今までも旧町単位の在京町人会、県人会にPRを行ってきた。

進学などで町を出た方についても、どのようにアプローチしていくか再検討が必要と思っている。

問 帰省するきっかけとして「花火大会」の復活、「2回目成人式」などの新たな企画を検討してみてはどうか。

町長 花火大会は持続的に開催できるように実行委員会を立ち上げ、コンセプトづくりから取り組み、再来年の夏に復活できたらと考えている。

2回目成人式は、成人式に合わせて人生の先輩から激励をもらえることや帰省のきっかけにもなると考えている。

その他の質問

●なし

質問のねらい

「和と美」という新しいキーワードを町民の皆さんと共有し、「観光元年」に対して、町はどのように対応すべきかを確認するため。

髙橋 聡輔 議員

録画映像

災害対応

住民による避難所運営訓練を

町長

講習会や研修会を実施する

問 避難所の開設・運営は、町による対応のみでは限界がある。住民相互の活動体制の整備が今後必要ではないか。

町長 災害発生時の避難所開設・運営については、住民にも協力してもらう計画になっているが、周知できていない。

今後は大規模災害に備えて、総合防災訓練などで講習会や研修会を実施し、住民相互の活動体制の整備を推進していく。

町HP
消防防災

問 災害時の情報伝達として運用を開始した「防災アプリ」などの内容は。

町長 防災アプリ「ハザードン」や、ガラケーなど携帯電話向け登録制防災メール、固定電話・FAXへの情報発信サービスの3つを活用した情報伝達を行っている。

災害情報をいち早く受け取れるアプリ

災害時の情報伝達手段

防災アプリ Hazardon	防災メール 加美町防災メール	電話・FAX 防災・防犯情報配信サービス
スマホやタブレットから災害時の情報が確認できます。	防災情報などをメールでお知らせします。	音声・FAXで防災・防犯情報を配信。
HAZARD ON	配信登録が必要です。町ホームページを参照のうえご登録ください。	登録が必要となりますので、危機対策課までお問合せください。(☎63-5264)

詳しい内容や登録方法はQRコードからご覧ください。

その他の質問

●子どもたちの体験活動

質問のねらい

災害発生時に避難所を開設・運営する町職員数にも限りがあるため、住民自身が関わるために訓練などが必要では。

木村 哲夫 議員

録画映像

再エネ条例

町の自然を守る改正を

町長

自然・町民の調和が必要

問 改正する予定の再エネ条例第9条禁止区域について、法令根拠を条例で定めるべきでは。
また、第2項の規定は削除すべきでは。

地球温暖化対策室長 施行規則で抑制区域として定めているため充分であると考えている。
第2項の規定は、国・県の上位法に基づき、関係法令などの許可を受けている場合は設置が認められるため設けている。

町の豊かな自然を保全

問 再エネ条例をより強固に改正することで、本町の雄大な自然を守り、町民に理解されるゼロカーボンシティの実現を目指してほしいが。

町長 町民の意見の相違で、対立構図になった現実があるため、調和が必要である。
事業者による風力発電事業などはゼロカーボンシティとは別物なので、丁寧に説明していきたい。

問 やくらい観光施設群の連携を強化し、赤字施設の統廃合が必要ではないか。

町長 時代のニーズに合わせて整理するか、または今のニーズに合わせるような投資もしていくべきと考えている。

質問のねらい

再エネ条例の強化で自然を守りつつ、自然を生かした観光地化により商店街のにぎわいを創出する。

味上 庄一郎 議員

録画映像

問 中新田地区商店街の観光地化は、昨年設立した活性化委員会と既存の商店街にぎわいづくり委員会などとの融合が重要では。

町長 高校生などの若い人も含めて、みんなで元気にしていく商店街となるように組織づくりをしていきたい。

その他の質問
- 企業誘致
- 新庁舎建設地周辺の将来

行財政改革

実効性を高める財政戦略は

町長

財政運営構造の構築を図る

問 施政方針にて、持続可能なまちづくりの基本となる財政問題や地方創生には一言も触れていないが、行財政改革の進捗状況は。

行政経営推進課長 令和3年度から5年間の集中期間の中で、改革メニュー94項目中、89項目を実施してきている。

問 総合計画は政治的決断で大型政策を持ち込むと、大幅に改定せざるを得なくなるため、計画期間を町長任期（4年）に合わせる必要があるのでは。

企画財政課長 第三次総合計画の策定において総合計画審議会で検討され、長期的な視点に立った事業計画を策定するということで10年間と設定した。

振興公社に人材を急募（やくらいコテージ）

問 振興公社は公共性と企業性を併せ持つものであり、目的にふさわしい人材を求めるべき。
また公的支援の上限を決め、完全民営化を視野に入れて検討すべきでは。

町長 民間に任せることができるようになれば、一番理想である。

質問のねらい

新年度に臨む意気込みは伝わったが、骨太の方針や戦略は特に見当たらない。
町政運営の根本的な考え、確かな効果はあるのか問う。

佐藤 善一 議員

録画映像

問 観光で移住促進を図るとのことだが、観光客は常に波がある。
地元利用を基礎に観光で伸びしろを確保する姿勢が大事と考えるが。

観光商工課長 町外からお客さんに来てもらい、町を知って魅力を感じてもらって、移住定住につなげていきたい。

その他の質問
- 支所機能
- ゼロカーボンシティ宣言
- 学校再編による跡地活用

有機農業

オーガニックビレッジ宣言は

町長 実施計画の策定後に宣言する

問 オーガニックビレッジ宣言に向けた、現在の進捗状況は。

町長 宣言に必要となる有機農業実施計画の策定に向けて、研修会の開催や消費拡大への取組として学校給食にアイガモ米を提供している。
計画ができたら宣言をしたい。

問 町内農業者は、オーガニックビレッジ宣言に乗り気ではないように見受けられるため、啓蒙活動が必要では。また、収入補償があれば生産者が増えるのでは。

林農課長 有機米の収量は低い状況だが、販売価格は高く設定されている。
国の制度も活用して収入増加を支援していく。

問 加美町では遺伝子組換えなどの農産物とはどう向き合うのか。

町長 健康によい食を子どもたちに提供していきたいので、安全性が証明されるまでは、受け入れるべきではないと考えている。

有機農業推進のため収入補償などの支援を

録画映像

質問のねらい

オーガニックビレッジ推進には、啓蒙活動や収入補償、収量増のための勉強会を開催し、生産者を増やす必要がある。

問 有機農業者の中には、10㌃当たり6俵くらい収量を確保している人もいる。
収量を上げるための取組が必要ではないか。

林農課長 令和7年度の加美有機農業推進協議会の事業計画では、収量を上げている先進地視察も予定している。

その他の質問
- 町民憲章とまちづくりの基本理念

風力発電

風況調査許可は公平公正に

総務課長 内容を確認検討する

問 今年1月24日付で私が独自に取ったアンケート結果を町長・議長に提出したが、どう感じたか。
また、加美郡医師会の先生から健康被害の受診者は「全くいない」とのことであるが。

町長 多くの方は、騒音や低周波などを感じないで過ごされている印象を受けた。
ただ、個人差があることも感じた。

問 町内における風力発電によるCO2削減効果はどれくらいか。

町長 JRE宮城加美町ウインドファーム（10基）で年間4万4000㌧のCO2（杉の木に換算すると314万本分）のCO2削減効果が見込まれる。

再エネと自然の共存・共生へ

録画映像

質問のねらい

国の諸法律に従って進める再エネ事業に、町は公平公正に正しく理解して対処すべきである。

問 現在、風況観測のため貸付している町有地の更新許可はしないとのことだが、その判断は公平公正であるべき。
財務省通達でも一定の場合を除き期間更新があり得るとあるが。

総務課長 新たに貸付申請があれば、内容を確認検討して、貸付などの手続きを行っていく。

その他の質問
- 雇用の創出・商工業
- 高齢者福祉・障害者福祉の充実

観光振興

スポーツ合宿の誘致を

町長 トップセールスを実施する

録画映像

質問のねらい

スポーツ施設の有効活用と交流人口の増加、町のイメージアップ、地域の活性化を図るためにもスポーツ合宿を推進するべき。

問 スポーツ施設の有効活用と地域の活性化を図るため、スポーツ合宿の誘致を進めるべきと考えるが。
　競技の選定や対象団体の状況は。

町長 陶芸の里スポーツ公園で行える陸上のほか、サッカー、ラグビー、野球、テニスなどの競技で、町外のスポーツ団体を対象に考えている。

問 様々な種目がある中で、一番注力して誘致したい種目は何か。

町長 12月議会で米木議員より提案のあった、箱根駅伝に出場するような大学を考えており、年末から動き出している。

地域資源を有効活用して誘致に取り組むべき

問 受入れ体制の整備と、合宿地として選定されるための要因をどのように捉えているのか。

町長 振興公社や町内の宿泊業者と調整を図っていく。
　合宿プランの提供や補助金の創設など、他自治体を参考に検討していく。

問 誘致・PR活動をどのように進めていくのか。

町長 成功の鍵は多くの部署が関わることや、民間団体とも連携して取り組むことが重要である。
　また、主要な競技団体へのトップセールスを実施していく。

その他の質問
- 健康づくりの推進

追跡シリーズ

あれからどうなった vol.58

令和６年12月定例会
議会広報No.88号から

これまでの定例会などで質問されたことが、その後どうなったのかをお知らせします。

■スポーツの力を活かせ

問 町の恵まれたスポーツ施設や温泉、豊富な食を組み合わせて、スポーツツーリズムに取り組み、地域活性化を図るべきでは。

町長 構想としては持っているので前向きに検討していきたい。

その後

■スポーツ合宿などの誘致を検討

商工観光課

町としてはスポーツ合宿に必要なパンフレットの作成や町長のトップセールスなどを検討しており、糸口を探っています。
　なお、加美町振興公社の令和７年度事業計画にもスポーツツーリズム（合宿）の誘致を検討しており、町としても支援していきます。

調査員コメント 今後に期待

自然に恵まれたスポーツ施設が数か所あるのでぜひスポーツツーリズム・合宿を誘致してほしいもの。
　加美町ならではのカヌー体験など障害児のための機会も検討してはどうでしょう。　（伊藤）

議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

2月～4月

月	日	本会議・委員会など	内容
2月	5日	議員会研修会	公立加美病院の運営状況等について研修 ⇒P10 ①
	7～18日	第1回定例会	一般質問・議案審議・令和7年度予算審査など ⇒P4～
3月	18日	－	加美町議会議員一般選挙告示日
	23日	－	加美町議会議員一般選挙投・開票日
	28日	全員協議会	加美町ボルダリング施設についてなど協議 ⇒P10
		第2回臨時会	加美町自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の一部改正など議案審議・補正予算
4月	4日	第3回臨時会（初議会）	議長選挙・常任委員の選任・議案審議など ⇒P2～3
	15日	全員協議会	初午まつり前夜祭と政策アドバイザー関連事業についてなど協議 ②
		第4回臨時会	一般会計補正予算
	24日	議会運営委員会	協議事項・スケジュールについてなど協議

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回（2/10、18、4/10、17、23）開催しました。

①

議員会研修会で加美病院の運営状況等を説明する
加美郡保健医療福祉行政事務組合の皆様

②

昭和和暦で数え100年を記念し
前夜祭が開催された初午まつり

議会傍聴について

傍聴の受付は「小野田支所３階」にて行います。
申請書に住所・氏名・年齢などをご記入ください。
一般傍聴席は「１９席のみ」となります。
満席時には、１階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています▶

傍聴・視聴された方（延べ人数）

会議	傍聴者人数		議会中継(LIVE)アクセス件数
	男性	女性	
２月定例会	9	3	2,928

次回の定例会は
６月中旬
から開催します

議会だよりへ一言

議会だより８６号（令和６年８月１日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター
〈表紙写真〉
議会ミーティングに参加したＰＴＡのいい表情の写真が目を引きます。

広報委員会
ＰＴＡと議会の活発な意見交換の様子を表紙にしました。手に取ってもらえるような紙面づくりを心がけてまいります。

募集 議会だよりモニター

議会だよりにご意見を

より分かりやすく、充実した「議会だより」とするためにご意見・ご感想をいただくモニターを募集いたします。

詳しい内容はこちらから▶

問合せ 議会事務局 ☎67−5120

～新人議員インタビュー～

議員になって思うこと

３月23日に行われた加美町議会議員一般選挙で初当選した４人にインタビュー！
議員を志したきっかけや、初議会を終えて思うこと、また、議会広報の編集委員として広報紙作りに携わった感想を伺いました。

早坂　潔　議員
（４４歳）中新田城内

介護業界での経験を活かし、町の福祉充実のために議員として活動する決意をしました。一生懸命働きますので、町の皆様に少しでも早く自分のことを知ってもらいたいです！

■初議会を終えて
改めて議員としてスタートしたことを実感し、身の引き締まる思いです。手順や振る舞いなどわからない事がたくさんあったので徐々に慣れて行きたいと思います。

■広報編集に携わって
かつて広報をデザインしていた事があるので、今度は作り手となった事が新鮮な気持ちです。

田中　草太　議員
（３１歳）新丁

地域の方々にめんこがってもらったので、ふるさとが大好きで、誇りを持って育ちました。
高校生の時に3.11を経験し、それ以降はまちづくり分野で活動。若い世代の声も町政に届けたいと考え、議員に立候補することを決意しました。

■初議会を終えて
先輩議員の皆様から勉強させていただいています。私はサラリーマンを続けながらの議員になるので、人一倍勉強をして、たくさん行動していくことで、地域に貢献していきたいと決意を新たにしました。

■広報編集に携わって
議会の活動を地域の方に知ってもらうために、議会広報はもちろん、SNSなどでも発信していこうと思います。

佐藤　圭介　議員
（５４歳）雷

今年の春も多くの若者がこの町を後にしました。「この美しい故郷にずっと住み続けてもらうにはどうしたらいいのか」を日々考えるうちに、まず自らが責任のある立場で活動しなければならないのではないか、と考えるようになりました。

■初議会を終えて
初めて足を踏み入れた議場は、これまで傍聴席から見ていた景色とは違い、とても奥深く神聖な場所だと感じました。町民の代表であることの重みを感じつつ、目指す故郷の姿に近づけられるようにと決意を新たにしました。

■広報編集に携わって
先輩議員の質疑を校正する作業の中で、真意を伝えるために議事録を読み込む事ができ、非常に勉強になりました。今後に活かしていきたいと思います。

今野　清人　議員
（４６歳）西川北

愛する加美町を更に良い町にし、次の世代に引き継ぐためにも我々責任世代の意見や思いを町政に届ける必要があるとの思いで立候補しました。町の状況等を把握するためにも現場第一で活動していきます。

■初議会を終えて
議会中継は見ていたものの、その議員席に自分が座っていることがとても不思議な感覚でした、議席番号3番は町長の目の前ですので、特に町長の発言を聞き漏らさぬよう努めてまいります。

■広報編集に携わって
今まで何気なく見ていた議会広報ですが、発行するまでには多くの作業がある事に驚いてます。

発行／宮城県加美町議会
発行責任者／宮城県加美町議会議長　味上庄一郎
編集／議会広報常任委員会

〒981-4392　宮城県加美郡加美町字長檀75-2
TEL 0229-67-5120　FAX 0229-67-5130
https://www.town.kami.miyagi.jp/　E-mail:gikaijimu@town.kami.miyagi.jp